

作品総評

この絵画展は、子どもたちに水生生物に親しんでほしいという願いから企画されました。

14回目となる今回は、1,050点の応募がありました。それらの作品について学年ごとに審査を行い、入賞・入選作品292点を展示しています。

寄せられた作品を見てみると、実物や図鑑をじっくり見てかいたもの、想像した水生生物をかいたもの、お話の絵、校外学習の時の体験を思い出してかいたものなど、いろいろな作品がありました。

力作が多く、審査は難航しましたが、次の三点を審査のポイントにして入賞・入選作品を選びました。

- ☆ 何を表したいかがはっきり伝わってくるもの
- ☆ 作者の水生生物への思いが感じられるもの
- ☆ かかっているものの形や色、構図などによさが感じられるもの

全体的に、作者と水生生物とのかかわりが感じられる作品が多くそれぞれの学年らしい表現の工夫も見られてよかったです。一方で構図や技法が画一的な作品もやや目につきました。子どもの個性を何より大切にしてほしいです。

このマリンピア日本海には、たくさんの水生生物がいます。ぜひ水族館で本物を見て楽しんでいただければと思います。そして、この絵画展をきっかけに、水生生物を身近な存在になってくれるとうれしいです。

これからも、子どもたちの体験や感動から生まれた作品がますます多くなることを楽しみにしています。

(審査 新潟市小学校教育研究協議会 図画工作部 教諭)